

書式Ⅷ 腕神経叢麻痺の機能評価表

カルテ No. _____ 患者名 _____ (男・女) 年令 (_____)

利き手 (右・左) _____ 患側 (右・左・両側) _____ 職業 : _____

診 断 _____ 受 傷 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

検 査 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 初 診 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

検 者 名 _____ 手 術 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

手術方法 (_____)

I. 受傷原因: オートバイ, 四輪, 転落, 手術, 放射線, 分娩, その他 (_____)

受傷分類: 労災, 自損, 第三者加害行為, 医原性

II. 受傷時の状態:

意識障害 無 有 (1時間以内, 1時間~1日, 1日以上)

骨折 無 有 (鎖骨, 頸椎横突起, 上腕骨, 肋骨, その他 _____)

合併損傷 無 有; 処置 (_____)

III. 受傷より初診までの処置:

IV. 現症

A. 患肢の状態: 色調 (_____) 血行障害 (-, +, _____)
 浮腫 (-, +, _____) 骨関節障害 (-, +, _____)
 疼痛 (-, +, _____) その他 (_____)
 変形 (-, +, _____)

B. Horner 徴候: (-, +, ptosis, miosis)

C. 関節可動域: a) 共通書式 1, 2 (49, 50頁) を使用する. b) リーチ図 (38頁) にも記入しておく.

D. MMT: 共通書式 7 (56頁) を使用する.

E. 関節拘縮: 無, 有 (_____)

F. 知覚検査: 共通書式 8 (57, 58頁) を使用する.

G. Histamin flare test

H. 発汗テスト: 共通書式 9 (60頁) を使用する (_____).

I. 横隔神経麻痺 (胸部 X 線で判定): (-, +)

J. 患者の協力: 良 悪 (_____)

カルテ No. _____ 患者名 _____

V. 過誤支配 無, 有 ()

VI. 補助診断

A. 画像診断 (検査日 年 月 日)

脊髓造影所見

	C5	C6	C7	C8	T1
髄膜瘤					
欠損					
根嚢像異常					

MRI 所見 ()

その他 ()

B. 電気診断 (検査日 年 月 日)

筋電図所見 ()

知覚神経活動電位

筋皮神経 ()

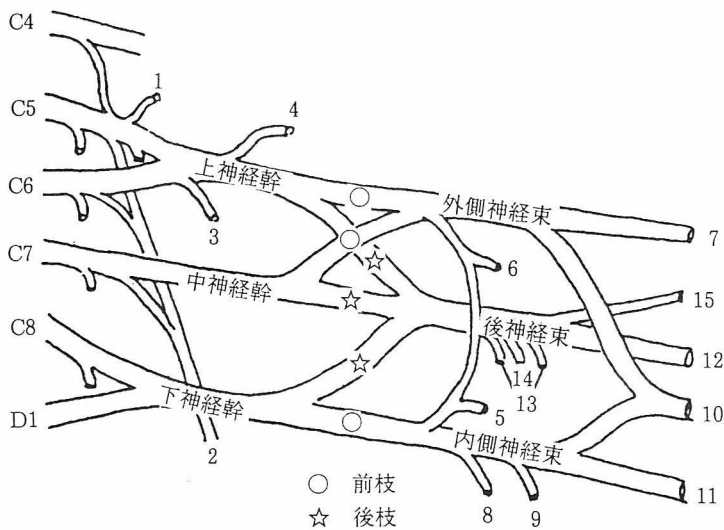
橈骨神経 ()

正中神経 ()

尺骨神経 ()

その他の電気生理所見 ()

C. 術中展開所見, その他



- 1) 肩甲背神経
- 2) 長胸神経
- 3) 鎖骨下筋神経
- 4) 肩甲上神経
- 5) 内側胸筋神経
- 6) 外側胸筋神経
- 7) 筋皮神経
- 8) 内側上腕皮神経
- 9) 内側前腕皮神経
- 10) 正中神経
- 11) 尺骨神経
- 12) 橈骨神経
- 13) 肩甲下神経
- 14) 胸背神経
- 15) 腋窩神経

Ⅶ. 運動機能評価

(右, 左)

- | | | |
|----------|----|---|
| 肩 (肘を含む) | | 3. 手を頭上に保持できる (10秒以下の場合秒数を記入する; _____ 秒) |
| | | 2. 手を口の前に保持できる (10秒以下の場合秒数を記入する; _____ 秒) |
| | | 1. 安定性があり, 腋窩で物を挟める |
| | | 0. 不安定 |
| 肘 | 屈曲 | 3. 前腕末梢部への強い抵抗に抗しうる (成人の場合 3 kg 以上の負荷) |
| | | 2. 前腕末梢部への軽い抵抗に抗しうる (成人の場合 3 kg 未満の負荷) |
| | | 1. 負荷なければ90°屈曲しうる |
| | | 0. 負荷なしでも十分屈曲できない (90°未満) |
| | 伸展 | 3. 抵抗に抗して伸展できる (MMT : 4 以上に相当する) |
| | | 2. 拳上位で肘伸展保持できる (MMT : 3) |
| | | 1. 拳上位で肘折れする (MMT : 2) |
| | | 0. 伸展できない (MMT : 0 ~ 1) |
| 前腕 | 回旋 | 3. 抵抗に抗して回内・回外できる (MMT : 4 以上) |
| | | 2. 抵抗無ければ回内・回外できる (MMT : 3) |
| | | 1. 回内・回外どちらか一方のみできる |
| | | 0. 回内・回外どちらもできない |
| 手関節 | 背屈 | 3. 抵抗に抗して背屈できる (MMT : 4 以上) |
| | | 2. 抵抗無ければ背屈できる (MMT : 3) |
| | | 1. 抵抗無ければ多少背屈できる (MMT : 2) |
| | | 0. 背屈できない (MMT : 0 ~ 1) |
| | 掌屈 | 3. 抵抗に抗して掌屈できる (MMT : 4 以上) |
| | | 2. 抵抗無ければ掌屈できる (MMT : 3) |
| | | 1. 抵抗無ければ多少掌屈できる (MMT : 2) |
| | | 0. 掌屈できない (MMT : 0 ~ 1) |
| 手 | | 3. power grip, tip pinch できる (_____ kg, g) (_____ kg, mmHg) |
| | | 2. hook grip, key pinch 十分にできる (_____ kg, g) |
| | | 1. hook grip, key pinch いずれかできる |
| | | 0. hook grip, key pinch いずれもできない |